

**世界最高レベルの処理性能を持つ新世代CMOSプロセッサを採用した
エンタープライズサーバ「AP8000E」の製品化をはじめとする
全メインフレーム製品を強化・拡充**



エンタープライズサーバ
「AP8000E」



エンタープライズサーバ
「AP7000/5A」



エンタープライズサーバ
「AP7000/80A」

日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO: 古川 一夫、以下 日立)は、このたび、エンタープライズサーバ「AP8000」の後継機種として、エンタープライズサーバ「AP8000E」(全 20 モデル)を製品化しました。「AP8000E」は、「AP8000」ハイエンドモデルに比べて処理性能が約 1.2 倍に向上した世界最高レベルの処理性能を持つ新世代 CMOS プロセッサを採用し、仮想テープライブラリ機能や LTO ライブラリ装置(*1)へのアクセスなどを専用に処理する「アクセラレートプロセッサ」や「512 チャンネル拡張機構」、ストレージへのデータ転送速度が 200MB/秒に増強された「FIBARC チャンネル」などを全モデルで搭載可能とするなど拡張機能を備えています。また、「AP8000E」の製品化にあわせて、オペレーティングシステム「VOS3/LS」の機能エンハンスも行います。既存の VOS3 資産の継承を実現しつつ、大規模データベース処理基盤の強化やデータベースの災害バックアップ対応などの機能を強化します。

さらに、今回、中小規模システム向けエンタープライズサーバ「AP7000」において、最上位モデル「AP7000/80A」と、エントリーモデル「AP7000/5A」の追加によりラインアップを完成するとともに、オペレーティングシステム「VOS1/LS」および「VOSK/LS」のオープンシステム連携に関する機能エンハンスを行います。

今回の発表は、日立の全メインフレーム製品を強化・拡充するもので、各製品とも 12 月 12 日から販売を開始します。

*1) LTO : Linear Tape-Open、磁気テープ記憶装置の規格

メインフレームおよび関連製品については、今後も、社会や企業の基幹情報システムを支える大規模データの高速処理や安定稼働を提供する高信頼性・可用性(障害回避・対策機能)とオープンシステムとの親和性をさらに追及し、日立のサービスプラットフォームコンセプト Harmonious Computing に基づいて、機能拡張と製品の提供を継続していきます。

エンタープライズサーバ「AP8000E」およびオペレーティングシステム「VOS3/LS」エンハンスの特長

1. ユーザーニーズにあった幅広いモデルラインアップを提供

従来の「AP8000」ハイエンドモデルに比べ約 1.2 倍に処理性能が向上した新世代 CMOS プロセッサを 1WAY 搭載するレギュラータイプ(9 モデル)と、最大 8WAY 搭載可能なハイエンドタイプ(11 モデル)を提供します。さらにユーザーニーズに近い CPU 性能を提供するために選択肢を増やした「キャパシティリザーブモデル」(27モデル)も用意しました。システムの業務量に合わせた最適なモデルの選択が可能となります。

2. メイン CPU の負荷を軽減する「アクセラレートプロセッサ」を搭載可能

仮想テープライブラリ機能や LTO ライブラリ装置へのアクセスなどを専用で処理する「アクセラレートプロセッサ」を全モデルに搭載可能です。本機構を搭載することで、メイン CPU の負荷を軽減しながら、これらの処理を高速に実行することが可能です。

3. ディスクアレイサブシステム「SANRISE9900V」シリーズなどのストレージ連携機能の強化

従来の 2 倍の最大 200MB/秒でデータ転送を実現する「FIBARC チャンネル」のサポートや、SANRISE と連携したリレーショナルデータベース「XDM/RD E2」での広域災害時の遠隔サイトバックアップディスクの自動切換えといったディザスタリカバリ対応強化など、ストレージ連携機能を強化しました。

4. セキュリティ強化や業務拡大によるデータの大容量化などへのニーズに対応

LTO ライブラリ装置への「VOS3/LS」システムのバックアップにおける暗号化機能やリレーショナルデータベース「XDM/RD E2」におけるイベントのログ監査機能のサポートなどによりセキュリティ機能を強化しました。また、「VOS3/LS」システムでの 64 ビットアーキテクチャ適用拡大や「512 チャンネル拡張機構」の全モデルサポート、さらに最大で約 992TB の記憶容量をサポートする Ultrium2 対応ドライブを採用した大容量 LTO ライブラリ装置が接続可能で、DB プラットフォームとしての基盤強化や大容量化に対応します。

5. 従来機との高い互換性の実現と容易なシステム更新環境を提供

従来の MP シリーズや VOS3 システムの資産の活用を可能とする「VOS3/LS」を提供します。

エンタープライズサーバ「AP8000E」および「VOS3/LS」(OS 本体)の価格及び出荷時期

製品名	価格(月額)	出荷時期
AP8000E	296 万円 ^{*2} ~	2004 年 4 月初~
VOS3/LS-JSS3	92 万 4 千円 ^{*3}	2004 年 4 月初~
VOS3/LS-JSS4	102 万円 ^{*3}	2004 年 4 月初~

*2) 税別の価格です。各種工事、サポートサービスは含みません。

*3) 税別の価格です。AP8000/100E プロセッサ使用時の料金です。

「VOS3/LS」エンハンス対応プログラムプロダクト

製品名	価格(月額) ^{*4}	出荷時期
VOS3 Database Connection Server	27 万円	2004 年 7 月初~
XDM/RD E2	36 万円	2004 年 12 月初~
DMFOPDS	15 万円	2004 年 4 月初~
DMFOPDS AccelerateProcessor Assist	3 万円	2004 年 4 月初~
DMFVTL5 Accelerate Processor Assist	3 万円	2004 年 4 月初~

*4) 税別の価格です。AP8000/100E プロセッサ使用時の料金です。

LTO ライブラリ装置を接続する SCSI Gateway 装置の価格及び出荷時期

製品名	価格(月額) ^{*5}	出荷時期
SCSI-Gateway 装置	533,000 円 ~	2004 年 4 月初 ~

*5) 税別の価格です。AP8000/100E プロセッサ使用時の料金です。

エンタープライズサーバ「AP7000/5A」、「AP7000/80A」、および、オペレーティングシステム「VOS1/LS」、「VOSK/LS」エンハンスの特長

1. 低コストかつ小型化を図ったエントリーモデル「AP7000/5A」を提供

従来の「AP7000/10A」より更に下位のモデルとして「AP7000/5A」を提供します。高さ 80cm の低層ラック筐体を採用したほか、従来標準装備であったシステム監視制御ユニットや無停電源装置をオプションとした、低コストかつ小型化を実現したモデルです。

2. 処理性能を向上した最上位モデル「AP7000/80A」を提供

「AP7000」の最上位のモデル「AP7000/80A」を提供します。従来の上位モデル「AP7000/60A」比べ、約 1.6 倍に処理性能を向上しました。

3. オープンシステムとの連携を強化した「VOS1/LS」「VOSK/LS」

オペレーティングシステム「VOS1/LS」および「VOSK/LS」において、今回のモデル追加に対応したほか、VOSK システムのリレーショナルデータベースとの DB 連携や VOS1 システムのジョブ連携などオープンシステムとの連携強化を図りました。

エンタープライズサーバ「AP7000」新モデルの価格及び出荷時期

1. 「AP7000/5A」および「AP7000/80A」(VOSK/LS 搭載モデル)

製品名	価格	出荷時期
AP7000/5A(VOSK/LS 含む)	820 万円 ^{*6} ~	2004 年 2 月末 ~
AP7000/80A(VOSK/LS 含む)	4,610 万円 ^{*7} ~	

*6) 「AP7000/5A」一式(ディスク 8GB x 2、メモリ 128MB、内蔵 DAT、外付けコンソール及びオペレーティングシステム「VOSK/LS」基本セット 1(*8))の価格です。各種工事・サポートサービス、消費税は含みません。

*7) 「AP7000/80A」一式(メモリ 256MB、内蔵 DAT、UPS、システム監視制御装置、外付けコンソール、ファイバチャネルアダプタ(内蔵ディスクレス構成(別途 SANRISE9570V が必要です)、オペレーティングシステム「VOSK/LS」基本セット 1(*8))の価格です。各種工事・サポートサービス、消費税は含みません。)

*8) VOSK 基本セット 1(OSCF E5、EAGLE/4GL、ACE3 E2、COBOL85)の価格です。サポートサービス、消費税は含みません。

2. 「AP7000/5A」及び「AP7000/80A」(VOS1/LS 搭載モデル)

製品名	価格	出荷時期
AP7000/5A	620 万円 ^{*9} ~	2004 年 2 月末 ~
AP7000/80A	3,410 万円 ^{*10} ~	
VOS1/LS (モデル 5A)	15 万円/月 ^{*11} ~	
VOS1/LS (モデル 80A)	57 万円/月 ^{*11} ~	

*9) 「AP7000/5A」一式(ディスク 1.89GB x 2、メモリ 128MB、内蔵 DAT、外付けコンソール)の価格です。各種工事・サポートサービス、消費税は含みません。

*10) 「AP7000/80A」一式(メモリ 256MB、内蔵 DAT、UPS、システム監視制御装置、外付けコンソール、ファイバチャネルアダプタ(内蔵ディスクレス構成、別途 SANRISE9570V が必要です))の価格です。各種工事・サポートサービス、消費税は含みません。)

*11) 「VOS1/LS」OS 標準セット 1(BCF E4、BSF E4、HCAM/TCP、HCAM/TCP/CSS560、IFIT-IEE E2、AOM)の価格です。サポートサービス、消費税は含みません。

製品情報のホームページ

【AP8000E】 <http://www.hitachi.co.jp/AP/>

【VOS3/LS】 <http://www.hitachi.co.jp/VOS3/>

【AP7000】 <http://www.hitachi.co.jp/AP7000/>

他社所有商標に関する表示

- ・ LTO および Ultrium は、Hewlett-Packard Company、International Business Machines Corporation、SeagateTechnology, Inc.の登録商標です。
- ・ その他の会社名、団体名、商品名は各社、各団体の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ

エンタープライズサーバ事業部 企画部【担当：庄山、中山】

〒259 - 1392 神奈川県秦野市堀山下1番地

TEL:0463 - 87 - 6786(ダイヤルイン)

以上

エンタープライズサーバ「AP8000E」の特長

1. ユーザーニーズにあった幅広いモデルラインアップを提供

「AP8000E」では、基本モデルのラインアップとして 1WAY 搭載の 100E から 1A0E のレギュラータイプを 9 モデル、2～8WAY 搭載可能な 260E から 810E のハイエンドタイプを 11 モデル、全 20 モデルを提供します。また、各モデルに対してユーザーニーズに近い CPU 性能を提供するために選択肢を増やした「キャパシタリザーブモデル」を用意し、お客様の業務要求に合うハードウェア、ソフトウェアを最適なコストで提供します。さらに、「AP8000E」では、Linux 専用プロセッサの性能も強化(AP8000 ミッドレンジモデル比:約 1.7 倍)し、より高速な Web サーバ環境を提供します。なお、今回、筐体の色を2色(ディープエメラルド、ブリリアントマジェンタ)用意しています。

2. メイン CPU の負荷を軽減する「アクセラレートプロセッサ」を搭載可能

「アクセラレートプロセッサ」は仮想テープライブラリアクセス処理、LTO ライブラリアクセス処理、帳票データ変換処理、ホストプリンタ印刷処理を加速する専用処理機構です。本機構を搭載することで、メイン CPU の負荷を軽減しながら、これらの処理を高速に実行することが可能です。

3. 「512 チャンネル拡張機構」適用モデルの拡大

エンタープライズサーバ「MP6000」、「AP8000」といった従来のハイエンドモデルで実績のある「512 チャンネル拡張機構」を「AP8000E」では全モデルに搭載可能です。これにより、オープンシステムやさまざまなシステムを「AP8000E」に統合する際の運用管理費の節減や、I/O システム規模の柔軟な拡張性を実現します。

4. 従来の 2 倍に高速化した「FIBARC チャンネル」をサポート

従来の 2 倍となる最大 200MB/秒のデータ転送能力をもつ「FIBARC チャンネル」をサポートしました。ディスクアレイサブシステム「SANRISE9900V」シリーズを接続することにより、高速なデータ転送を実現します。さらに、実装の高密度化によりチャンネルカード当り 2 チャンネルの搭載を実現。システム当りの「FIBARC チャンネル」搭載数も 144 チャンネルまで拡張しました。

5. LTO ライブラリ接続機能を強化

「AP8000E」にオープン系テープライブラリ装置である LTO ライブラリ装置を接続する機能を強化しました。LTO ライブラリ装置との接続を可能とする SCSI Gateway 装置のエンハンスを行い、データ容量とデータ転送速度を強化した第 2 世代 LTO (Ultrium™2) 対応のドライブや、LTO ライブラリ装置への書き込みデータを米国標準暗号である AES により暗号化する機能をサポートしました。

SCSI: Small Computer System Interface

エンタープライズサーバ「AP8000E」の仕様

1. AP8000E 基本モデルの概略仕様

表 1-1 AP8000E レギュラータイプの概略仕様

構成装置		100E	120E	140E	150E	160E	170E	180E	190E	1A0E
命令プロセッサ (IP) 数		1								
Linux-IP 数		0 ~ 1								
アクセラレートプロセッサ (AC) 数		0 ~ 1								
交代 IP		有 (標準)								
記憶装置	記憶容量*1	2GB ~ 32GB								
	増設単位*1	512MB								
	エラーチェック	マルチビットエラー訂正								
	交代メモリチップ	有 (標準)								
入出力プロセッサ (IOP) 数		1 ~ 8								
チャンネル	合計チャンネル数	0 ~ 512								
	パラレルチャンネル(内数)	0 ~ 192								
	ACONARC チャンネル(内数)	0 ~ 512								
	FIBARC チャンネル(内数) *2	0 ~ 144								
	ILA2(内数)	0 ~ 32								
	システム結合チャンネル(内数)	0 ~ 32								
キャパシティオンデマンド		IP, MS, Linux-IP, Linux-MS, AC								
データ圧縮機構		有 (標準)								
浮動小数点拡張機構		有 (標準)								
プロセッサ資源分割管理機構		有 (標準)								
内蔵データベースプロセッサ (IDP)		有 (付加機構)								
RCUCIF 接続機構(RCUCIFA)		有 (付加機構)								
ハードウェアモニタ (HM)		有 (付加機構)								
動的 IP 交代機能		有 (標準)								
2入力電源		有 (付加機構)								
寸法*3 (幅x奥行x高さ)		720mm x 950mm x 1720mm								
省エネ法に基づく表示	区分	区分外								
	エネルギー消費効率*4	-								

(*1):1MB(メガバイト)=1,024²バイト,1GB(ギガバイト)=1024³バイトです。

(*2):最大100MB/秒の転送能力をもつ従来の FIBARC チャンネルの最大搭載数は 72 です。

(*3):基本構成(最大 64 チャンネル搭載)の場合の寸法です。

(*4):エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものである。

表 1-2 AP8000Eハイエンドタイプの概略仕様

構成装置		260E,270E,280E,290E,2A0	310E	410E	510E	610E	710E	810E
命令プロセッサ(IP)数		2	3	4	5	6	7	8
Linux-IP 数		0~2					0~	0
アクセラレートプロセッサ(AC)数		0~2	個別対応					
交代IP		有(標準)						
記憶装置	記憶容量*1	2GB ~ 64GB						
	増設単位*1	512MB						
	エラーチェック	マルチビットエラー訂正						
	交代メモリチップ	有(標準)						
入出力プロセッサ(IOP)数		1 ~ 8						
チャンネル	合計チャンネル数	0 ~ 512						
	パラレルチャンネル(内数)	0 ~ 192						
	ACONARC チャンネル(内数)	0 ~ 512						
	FIBARC チャンネル(内数) *2	0 ~ 144						
	ILA2(内数)	0 ~ 32						
	システム結合チャンネル(内数)	0 ~ 32						
キャパシティオンデマンド		IP, MS, Linux-IP	IP, MS, Linux-IP, Linux-MS,					
データ圧縮機構		有(標準)						
浮動小数点拡張機構		有(標準)						
プロセッサ資源分割管理機構		有(標準)						
内蔵データベースプロセッサ(IDP)		有(付加機構)						
RCUCIF 接続機構(RCUCIFA)		有(付加機構)						
ハードウェアモニタ(MH)		有(付加機構)						
動的IP交代機能		有(標準)						
2入力電源		有(付加機構)						
寸法*3 (幅x奥行きx高さ)		1455mm x 950mm x 1720mm						
省エネ法に 基づく表示	区分	区分外						
	エネルギー消費効率*4	-						

(*1):1MB(メガバイト)=1,024²バイト,1GB(ギガバイト)=1024³バイトです。

(*2):最大100MB/秒の転送能力をもつ従来のFIBARCチャンネルの最大搭載数は72です。

(*3):基本構成(最大128チャンネル搭載)の場合の寸法です。

(*4):エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものである。

2 . SCSI Gateway 装置の概略仕様

表 2-1 SCSI Gateway装置の概略仕様

項目	仕様	備考
モデル	ラックモデル *1	
1000 Base-SX ポート	標準 2ポート, 最大 4ポート	CPU との接続ポート
SCSI ポート	標準 2ポート, 最大 4ポート	LTO ライブラリ装置との接続ポート
電源制御機構	標準	PCI による電源制御
コンソール装置	ラックコンソール	
	1台/ラック	
暗号機構	付加機構	
遠隔保守支援機構 (ASSIST)	標準	
接続 CPU	AP8000/AP8000E ・1000 Base-SX ポートをサポートする内蔵 LAN アダプタ タイプ 2(ILA2)の搭載が必要	
接続 LTO ライブラリ装置	3584LTO ライブラリ装置 ・最大 2,481 巻(約 992.4TB(*2))までの LTO カートリッジを収容 ・複数の SCSI Gateway 装置間の共用およびオープンサーバとの共用が可能 3583LTO ライブラリ装置 ・最大 72 巻(約 28.8TB(*2))までの LTO カートリッジを収容 ・19 型標準ラックへの搭載可能 ・複数の SCSI Gateway 装置間の共用およびオープンサーバとの共用が可能	

(*1): 1 台のラック内に最大 2 つの SCSI Gateway 装置を搭載することができます。

SCSI Gateway 装置 1 台/ラック時に, 3583LTO ライブラリ装置が, 1 台内蔵可能です。
(*2): データ圧縮率 2 倍の場合のデータ容量。1TB(テラバイト) = 1,000⁴ バイトです。

オペレーティングシステム「VOS3/LS」、および、Linux for AP8000 における機能エンハンスの特長

「VOS3/LS」システムでは、1. 大規模DB処理、2. ストレージ統合管理、3. オープン連携、4. 統合運用管理の4つのサーバソリューションにおいて、機能拡充および機能強化を実施しています。

1. 大規模 DB 処理における機能強化

(1) 64 ビットアドレッシング機能強化

「VOS3/LS」の特長である 64 ビットアーキテクチャを VOS3 Database Connection Server 実行環境に活用し、データ空間だけでなく実行アドレス空間も 2GB 超に配置できます。これにより、オンライン業務などの処理多重度を向上し、大規模クライアント環境のスケラビリティ拡大を図ることができます。

(2) XDM 機能強化

XDM は、リレーショナルデータベース「XDM/RD E2」や構造型データベース「XDM/SD E2」及び DC 機能の「XDM/DCCM3」など各種サブシステムからなる統合型 DB/DC システムです。

(a) 監査ログ機能

リレーショナルデータベース「XDM/RD E2」でのデータベースアクセスなど監査対象となるイベントを監査ログとして記録できます。システムへの侵入や不正アクセスなどを監査が可能となります。

(b) XDM のディザスタリカバリ機能

リレーショナルデータベース「XDM/RD E2」では、広域災害が発生した場合でも、遠隔地サイトのバックアップディスクに自動的に切り替えて業務を短時間で再開できるディザスタリカバリ機能をサポートします。ディスクアレイサブシステム「SANRISE9900V」シリーズと連携し、DB のデータを非同期処理にて、ジャーナルのデータのみを同期処理にてリモートコピーすることにより、低い処理オーバーヘッドで高い整合性を保持した災害センターを構築することが可能です。

2. ストレージ統合管理の強化

(1) データ暗号化による LTO ライブラリ装置へのバックアップ

SCSI Gateway 装置を介して接続された LTO ライブラリ装置への VOS3 システムのファイルバックアップにおいて、データの暗号化機能を提供します。これにより、暗号化されたデータでの媒体保管など高いセキュリティを確保することが可能です。

3. オープン連携機能の強化

(1) Linux for AP8000 NTP クライアントサポート

ネットワーク上のタイムサーバの時刻情報を Linux for AP8000 が取得し、VOS3 システム側に時刻情報を配信します。これにより、システム間で時刻同期を図ることが可能です。

4. 統合運用管理の強化

(1) LPAR 間での CPU 割り当て量の計画変更

VOS3 システム間負荷分散機能と「AOMPLUS」のシナリオを組み合わせることにより、LPAR 構成を動的に計画変更する機能を提供します。これにより、昼間のオンライン業務/夜間のバッチ業務など時間帯別の負荷変動に応じ、リソース配分の適正化を図ることができます。

他社所有商標に関する表示

- ・Linux は、Linus Torvalds 氏の米国及びその他の国における登録商標あるいは商標です。
- ・ORACLE は、ORACLE Corporation の登録商標です。
- ・PostScript は、米国での Adobe Systems, Inc. の商標です。
- ・UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
- ・LTO および Ultrium は、米国における米国 Hewlett-Packard Company/米国 International Business Machines Corp. および米国 Seagate Technology, Inc. の登録商標です。
- ・その他の会社名、団体名、商品名は各社、各団体の商標または登録商標です。

エンタープライズサーバ「AP7000/5A」・「AP7000/80A」の特長

エンタープライズサーバ「AP7000」のラインアップに、従来の下位モデル「AP7000/10A」より更に下位のエントリーモデル「AP7000/5A」と、最上位モデル「AP7000/80A」を追加し、ラインアップを完成しました。

1. 低コストかつ小型化を図ったエントリーモデル「AP7000/5A」を提供

高さ 80cm の低層ラック筐体を採用したほか、従来標準装備であったシステム監視制御ユニットや無停電源装置をオプションとした、低コストかつ小型化を実現したモデルです。

2. 処理性能を向上した最上位モデル「AP7000/80A」を提供

従来の上位モデルであった「AP7000/60A」比べ、約 1.6 倍の処理性能を向上しました。

オペレーティングシステム「VOSK/LS」エンハンスの特長

1. オープンシステムとの連携強化

(1) オープンシステムとのデータ連携強化

PC サーバ上の Microsoft (R) SQL Server のデータを、「VOSK/LS」のリレーショナルデータベースへ一括複写したり、差分反映することができます。また、「VOSK/LS」上の業務プログラムから PC サーバ上の Microsoft (R) SQL Server にアクセスでき、幅広いシステムおよび業務形態に柔軟に対応できます。

オペレーティングシステム「VOS1/LS」

1. オープンシステムとの連携強化

(1) 「VOS1/LS」とオープンシステム間でのジョブ連携機能強化

Windows や UNIX、Linux などのオープンシステム上で実行する業務と、「VOS1/LS」上で実行する業務の連携が可能なオープンジョブウェイで、PC での「VOS1/LS」ジョブ指定時に入力クラスを指定することにより、ジョブ実行の優先順位付けなどきめ細かな運用が可能となります。

エンタープライズサーバ「AP7000」概略仕様一覧(モデル 5A ~ 80A VOS1/LS 対応)

項目		モデル	5A	10A	30A	60A	80A
命令プロセッサ			1				
入出力プロセッサ			1				
主記憶装置*1	記憶容量		128MB ~ 512MB			256MB ~ 512MB	
	増設単位		128MB			256MB	
高速パラレル機構			なし			オプション	
チャンネル数(最大)			4		6	12	
内蔵回線アダプタ(最大)			2	6			
内蔵磁気 ディスク装置*2	記憶容量 (論理ボリューム数)		3.8GB(2) ~ 11.3GB(6)	3.8GB(2) ~ 26.4GB(14)		3.8GB(2) ~ 49.1GB(26)	
	RAID		RAID 1標準装備				
RAID制御機構			RAID 制御機構S	RAID制御機構S または RAID制御機構H		RAID制御機構H	
内蔵 DAT 装置*2	最大記憶容量		20GB/カートリッジ(非圧縮時)				
内蔵 LTO 装置*2	最大記憶容量		100GB/カートリッジ(非圧縮時)				
内蔵 LAN アダプタ(ポート数)			2 ~ 4				
SANRISE9570V 接続			可能				
システム監視制御ユニット*3			オプション	標準装備			
HA8000,GR2000 ラッキング			なし	オプション			
通信制御装置*4	最大回線数		24				
	最大伝送速度*5		1.5Mbps				
寸法*6	幅		600mm				
	奥行き		998mm				
	高さ		800mm	1400 または 1700mm			
電源設備			100V				
無停電電源装置*7			オプション	標準装備			

*1 1MB(メガバイト) = 1,024² バイトです。

*2 1GB(ギガバイト) = 1,000³ バイトです。

*3 オプションにて付加した場合、アラーム警報、外部接点、外付け I/O 電源制御、システム電源異常通知(停電通知等)等の機能を使用することができます。

*4 拡張装置に搭載または内蔵回線アダプタを使用。

*5 1Mbps(メガビット/秒) = 1,000² ビット/秒です。

*6 基本ラックの寸法(拡張装置などの寸法は含まれていません)です。

*7 各種バッファのデータロス回避のためには、無停電設備は必須です。お客様で準備される場合にはバッテリー容量等ご留意ください。

エンタープライズサーバ AP7000 概略仕様一覧(モデル 5A ~ 80A VOSK/LS 対応)

項目	モデル	5A	10A	30A	60A	80A
命令プロセッサ		1				
入出力プロセッサ		1				
主記憶装置*1	記憶容量	128MB ~ 512MB		128MB ~ 768MB	256MB ~ 2047MB	
	増設単位	128MB			256MB	
高速パラレル機構		なし			オプション	
チャンネル数(最大)		4		6	12	
内蔵回線アダプタ(最大)		2	6			
内蔵磁気 ディスク装置*2	記憶容量 (論理ボリューム数)	16GB(2) 48G B(6)	16GB(2) 112GB(14)			16GB(2) 208GB(26)
	RAID	RAID 1標準装備				
RAID制御機構		RAID 制御機構S	RAID制御機構S または RAID制御機構H		RAID制御機構H	
内蔵 DAT 装置*2	最大記憶容量	20GB/カートリッジ(非圧縮時)				
内蔵 LTO 装置*2	最大記憶容量	100GB/カートリッジ(非圧縮時)				
内蔵 LAN アダプタ(ポート数)		2 ~ 4				
SANRISE9570V 接続		可能				
システム監視制御ユニット*3		オプション	標準装備			
HA8000,GR2000 ラッキング		なし	オプション			
通信制御装置*4	最大回線数	24				
	最大伝送速度*5	1.5Mbps				
寸法*6	幅	600mm				
	奥行き	998mm				
	高さ	800mm	1400 または 1700mm			
電源設備		100V				
無停電電源装置*7		オプション	標準装備			

*1 1MB(メガバイト) = 1,024² バイトです。

*2 1GB(ギガバイト) = 1,000³ バイトです。

*3 オプションにて付加した場合、アラーム警報、外部接点、外付け I/O 電源制御、システム電源異常通知(停電通知等)等の機能を使用することができます。

*4 拡張装置に搭載または内蔵回線アダプタを使用。

*5 1Mbps(メガビット/秒) = 1,000² ビット/秒です。

*6 基本ラックの寸法(拡張装置などの寸法は含まれていません)です。

*7 各種バッファのデータロス回避のためには、無停電設備は必須です。お客様で準備される場合にはバッテリー容量等ご留意ください。

他社所有商標に関する表示

- ・UNIX は The Open Group が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
- ・Windows、Microsoft[®] SQL Server は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp.の登録商標です。
- ・Linux は、Linus Torvalds 氏の米国及びその他の国における登録商標あるいは商標です。
- ・LTO は、米国における米国 Hewlett-Packard Company/米国 International Business Machines Corp. および米国 Seagate Technology, Inc.の登録商標です。
- ・ORACLE は、ORACLE Corporation の登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名、ロゴはそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
